

令和2年度 社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会事業報告

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

管理運営部門

1 社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会の管理・運営

(1) 三 役 会

令和2年12月 2日(月) 理事会の進行と役割について
令和3年 3月19日(金) 理事会の進行と役割について

(2) 理 事 会

令和2年 6月 2日(火) ①評議員選任・解任委員の選任について
②令和元年度(平成31年度)事業報告
(案)について
③令和元年度(平成31年度)決算報告
(案)について
④評議員会への提案について
⑤その他

※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議(決議の省略)により議決

・提案日:令和2年5月27日(水)
・みなし決議日:令和2年6月2日(火)

12月 2日(水) ①令和2年度補正予算(案)について
②理事候補者の推薦について
③評議委員候補者の選任について
④評議委員選任・解任委員会の開催について
⑤評議委員会の開催について
⑥会長職務施行状況報告について

令和3年 3月19日(金) ①令和3年度事業計画(案)について
②令和3年度予算(案)について
③諸規程の一部改正(案)について
④役員等賠償責任保険契約の締結につい
⑤評議員会の開催について

(3) 評議員会

- 令和2年 7月 6日(月) ①令和元年度(平成31年度)事業報告(案)について
②令和元年度(平成31年度)決算報告(案)について

※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議(決議の省略)により議決

- ・提案日:令和2年6月17日(水)
- ・みなし決議日:令和2年7月6日(月)

- 令和3年 2月 1日(月) ①令和2年度補正予算(案)について
②理事の選任について
③和2年度これまでの主な取組みについて

※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議(決議の省略)により議決

- ・提案日:令和2年12月18日(金)
- ・みなし決議日:令和3年2月1日(月)

- 3月26日(金) ①3年度事業計画(案)について
②令和3年度予算(案)について
③諸規程の一部改正(案)について
④役員等賠償責任保険契約の締結について

2 経営基盤の充実

賛助会員加入状況

- 個人会員(3,000円)内2,000円は地域に配分する。
442件 1,391,000円 (但し、法人・町会単位を含む)
- 法人会員(10,000円)但し、20%を地区社協数で割った金額を地域に配分する。
22件 220,000円

3 善意銀行運営の管理・運営

(1) 善意銀行運営委員会

- 実施日 令和2年9月15日(火)
場 所 書面審議
内 容 令和2年度事業助成について

(2) 運営状況

- 前期繰越 11,972,415円 (令和2年度へ繰越)
収入金額 206,000円 (預託8件)

50,547円 (預金利息)
支出金額 889,801円
次期繰越 11,339,161円

<預託者名(敬称略順不同)> ◎は毎年の寄付

金銭預託

◎衛藤典雄○花の町連合女性部◎大阪咲洲ロータリークラブ◎加賀屋農園
◎住友生命 南港ヒューマニー委員会○匿名

物品寄附

○大隅賢次○関西電力送配電株式会社○関西電力労働組合大阪南エリア支
部○匿名

<払出し>

◎住之江区小学校校長会 防犯ブザー○地域福祉推進事業助成金 2件

地域福祉推進部門

1 地域福祉活動支援事業

(1) 各地区社協活動の支援

各地区社協で実施されている活動を支援し、地域福祉の向上をめざすとともに、各地区社協と協働しながら、福祉のまちづくりを推進する。

① 地区社協会長会・ネットワーク委員長会合同会議

令和2年8月19日(水)

- ・令和2年度地域ネットワーク推進員業務委託契約等について
- ・令和2年度地区社協への助成金について
- ・地区社協等団体資料の提出について(依頼)
- ・コロナ禍における区社協事業の推進報告
- ・コロナ禍における今後の福祉会館のネット環境の整備について
- ・情報交換

令和2年11月18日(水)

- ・外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業にかかるタブレット購入について
- ・コロナ禍における地域福祉活動の再開状況について
- ・外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業について
- ・要援護者名簿のリニューアルについて
- ・要援護者のコロナ禍の変化と現状について
- ・コロナ禍における各地域の様子・困りごと等について

② 地域ネットワーク推進員連絡会

毎月第4金曜日に定例開催

- ・情報交換を中心に事例検討等を行う。

- ・12月、1月はオンライン会議ツール（Zoom）にて開催。

③各地域での地域福祉推進支援

- ・加賀屋地域 8050問題に関するフォーラム開催への支援
- ・平林地域 新事業（かぎ預かり事業）にかかる相談、調整
「ボランティア意向調査」アンケートの作成
- ・新北島地域 こども食堂開設に向けた助成金申請、会議への出席等の支援

（2）各種会議への参画

①区政会議健康・福祉部会

（第1回）

開催日 令和2年6月25日（木）

場 所 住之江区役所

議 題 ・令和元年度住之江区運営方針振返り（案）について
・高齢者支援についての課題

（第2回）

開催日 令和2年10月5日（月）

場 所 住之江区役所

議 題 ・令和3年度に向けた施策並びに区運営方針の方向性について

（第3回）

新型コロナウイルス感染予防のため中止

②自立支援協議会

精神保健福祉ネットワーク部会会議…毎月第3金曜日

子ども部会会議…コロナ禍で適時開催

（3）各種講座の開催

- ①認知症サポーター養成講座 9回（森ノ宮医療大学、クリニック、介護事業所、地域等）
- ②キャラバンメイト連絡会 4回

（4）その他

車いすの貸し出し 101件

2 地域福祉計画の推進支援について

区役所に協力し、「ふだんのくらししあわせプラン」（地域福祉計画）の推進支援、各地域の活動状況の把握を行った。

- （1）地域懇談会に参画（区役所に同行） 各地域1回

(2) S A l i v e (さらいぶ) 実行委員会への参画。

※SALive (さらいぶ) 実行委員会は、「住之江で安心して暮らす」ことを目的に、在住・在勤・在学の次世代層を中心とした、住之江区の身近な地域福祉について考える会

3 社会福祉施設連絡会の運営

(1) 役員会

日 時 令和2年9月8日(火) 午前10時～11時30分
場 所 区在宅サービスセンター 3階多目的ルーム
内 容 ①総会の開催について
②役員改選について
③情報交換テーマについて

(2) 総会

日 時 令和2年10月30日(金) 午後2時～4時
場 所 区在宅サービスセンター 3階多目的ルーム
内 容 ①令和元年度 事業報告について
②任期満了に伴う役員改選について
③令和2年度 事業計画(案)について
④情報交換
・新型コロナ禍における各施設の対応について

(3) 研修会案内

- ①令和2年9月10日(木) 午後2時～3時30分
テーマ:CAP (Child Assault Prevention) 子どもへの暴力防止
講 師:おおさかCAPエコーlustaff
参加者:12施設
- ②令和3年3月13日(土) 午後2時～3時30分
テーマ:介護現場における苦情対応について学ぶ
～支援の質向上のために～
講 師:久岡 英樹氏 大阪弁護士会
高年齢者・障害者総合支援センターひまわり
蔵野 和男氏 おおさか介護サービス相談センター副所長
参加者:3施設

4 共同募金地区募金会の運営

(1) 地区募金会の開催

未開催

(2) 共同募金運動の推進

①共同募金運動期間 令和2年10月1日～12月31日

②多様な募金運動の実施

・各地区連合町会へ戸別募金およびバッジ募金の協力依頼

・街頭募金の実施

令和2年10月 1日(木) 地下鉄住之江公園駅前にて

令和2年11月 7日(土)・8日(日) 子どもEXPOにて

令和2年11月10日(火) デイリーカナートにて

令和2年11月15日(日) わんにゃんマルシェにて

・区内小中学校への学校募金の協力依頼および協力校へお礼状の交付

・区社協窓口に募金箱の設置および区内各施設(企業・商店含む)への募金箱設置協力依頼

・募金実績額 金3,974,382円

③募金運動に関する周知啓発

区社協広報紙やホームページにおいて募金運動に関する周知啓発

『令和2年度 共同募金会だより』を募金運動協力機関へ配布

5 ボランティアビューローの運営

(1) 需給調整事業

援助依頼者の受付、ニーズの把握及び援助計画の検討

○ボランティア活動希望者の受付、登録および活動紹介

・登録ボランティア 28名

○ボランティアグループの登録、活動紹介および連携

・登録グループ 47グループ

(2) 活動援助事業

①ボランティアグループ定例会・研修会への参加

②ボランティアグループ育成・援助

③ボランティア保険申し込みの受付

○ボランティア保険の受付

・ボランティア活動保険 17件 ・活動行事保険 94件

・有償活動保険 3件 ・移送中事故傷害保険 0件

④ボランティア団体等への会議室、備品等の提供

⑤ボランティアルーム、朗読デッキ等の使用

⑥令和2年度ボランティア活動推進事業助成金申請の受付 14件

<申請団体>

PGC 運動クラブ/絵本の会/住之江/おいと会/音訳グループほのぼの/子育て支援わらべの会

すみのえおもちゃ病院/すみのえふれ愛日本語サークル/住之江のまち案内ボランティアの会手話サークルつばさ/大正琴コスモス会/フレンズ/みんなでウクレレ歌おう会/民踊すみれ会幸承会

(3) 広報啓発活動事業

①ホームページによる情報発信（区社協ホームページに掲載）

②行事周知のためのポスター、チラシの作成

- ・ボランティアだより発行（年3回）
- ・ボランティアガイド作成

(4) 福祉教育推進

「福祉」とは、特別な人に対することではなく、私たちが暮らしている日常生活の中にある

ことを伝え、各世代に応じた福祉活動ができるよう推進

○真住中学 1年生 15名（職業講話）

○南港北中学校 3年生 81名

(5) 調査・研究事業

ボランティア活動や社会福祉に関する情報・資料の収集

6 広報・啓発活動

(1) 区社協だより「さざなみ」第72号(8月)・第71号(1月)保存版:

あったかネットコーディネーター及び在宅生活の虎の巻特集の発行

(2) ホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報提供

(3) 地区社協広報活動への助成

7 各種団体・事業助成

(1) 地区社協活動への助成

・地区社協指導育成費、・地区社協推進費・地区社協活動再開のための整備費・地区社協活動費（広報活動）

(2) 各福祉団体活動への助成

8 防災の取組み

(1) 訓練の実施

- ・市・区社協合同災害対策本部設置訓練
開催日：令和2年12月17日（木）
内 容：大規模災害発時の市・区社協の役割及び連携の確認
- ・災害時に備えた資機材の設置等
 - ・災害ボランティアセンター開設時に使用する投光器一式
 - ・災害ボランティア及び職員が使用するビブス（100枚）

その他の区社協による事業部門（受託事業）

**1 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
（見守り相談室市委託事業）**

(1) 機能①「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

①郵送による同意確認

対象者：要介護3以上および日常生活自立度Ⅱ以上、障がい(児)者、
難病患者

対象者数	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
1,210人	584件	52.28%	399件	185件

②訪問による同意確認

対象者：同意書発送後、返信のなかった方

対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
434人	174件	40.4%	138件	36件

②名簿提供人数（令和元年12月1日作成）

地域名	名簿提供人数	地域名	名簿提供人数
安立	363人	平林	150人
敷津浦	275人	新北島	252人
住之江	227人	南港緑	180人
住吉川	275人	花の町	181人
加賀屋	211人	海の町	119人
加賀屋東	280人	太陽の町	99人
粉浜	384人	清江	99人
合 計		3,095人	

(2) 機能②「孤立世帯等への専門的対応」

①相談件数

訪問	電話	来所	その他	合計
794件	1178件	75件	139件	2,186件

②相談実人員

相談実人員	性別内訳		
	男	女	不明
498件	243件	255件	0件

③属性内訳

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児
320人	91人	19人	3人	24人	0人

難病	引きこもり	ごみ屋敷	生活困窮者	子育て中の保護者	その他
0人	3人	1人	4人	4人	31人

④相談内訳

経済・生活問題	1081件	いきがいつくり	1件
福祉サービス	150件	虐待	0件
保健・医療	148件	家族・家庭問題	5件
介護	10件	見守り訪問	352件
子育て	1件	ごみ屋敷	60件
就労	1件	その他	569件
		合計	2,379件

⑤アウトリーチ(※)による相談 ※必要な支援を拒否する方への対応

相談延べ件数 7件

相談実人員 7人 うち必要な支援につないだ相談実人員 7人

(3) 機能③「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

①協力者 189件

②登録者 58件

③行方不明発生状況 配信依頼件数 7件 発見件数 7件

(4) 見守り名簿登録者への訪問活動

大阪市社協からの「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」を受けて、本会では、こんな時こそ“つながり”を絶やさないように見守り名簿登録者約3,000名への訪問と声掛けが必要であると考え、市社協から支給された訪問のきっかけとなるタオル1,000枚に2,000枚を上乗せて、6月から11月にかけて各地域の見守り活動担当者の方々と協力し合いながら訪問配付した。

【タオルに同梱した啓発】

見守り相談室チラシ、あったかネットコーディネーター紹介、医療・介護等連絡先、地域独自の啓発チラシ等（ふれあい喫茶券等）

【訪問活動状況】

地域	時期	日数	従事者	対象者数
安立	8月～10月	7日間	あったかネットコーディネーター・見守り相談室・調査員	363
敷津浦	8月～9月	6日間	あったかネットコーディネーター・見守り相談室・調査員	275
住之江	9月	随時	各町会	227
住吉川	8月～9月	随時	ネットワーク委員会	232
加賀屋	6月～7月	随時	あったかネットコーディネーター	185
加賀屋東	8月～10月	6日間	見守り相談室・調査員	280
粉浜	8月～10月	9日間	あったかネットコーディネーター・調査員	384
平林	10月～11月	随時	ネットワーク委員会・友愛訪問ボランティア	150
新北島	6月～7月	5日間	あったかネットコーディネーター・見守り相談室・調査員	234
南港緑	8月～9月	随時	あったかネットコーディネーター・地域支援担当・見守り相談室・調査員	180
花の町	6月	3日間	あったかネットコーディネーター・民生委員・地域支援担当・見守り相談室	150

海の町	5月～6月	随時	民生委員児童委員協議会	168
太陽	6月	随時	あったかネットコーディネーター・地域支援担当・見守り相談室	101
清江	6月～7月	3日間	あったかネットコーディネーター・町会長・見守り相談室	99
合計				3,028

2 見守りあったかネット事業（区委託事業）

区内の地域住民の方へ「見守りの気づきの視点」を高め、見守り活動の担い手を養成することを

目的に各地域の実情に合わせた研修会を実施する。住民同士の支え合い、見守り活動の促進により、事態が深刻化する前に適切な制度やサービス等につなげることで、安心して暮らせる地域づくりを目的とする。

【見守りあったかネットコーディネーター研修】

日 時 令和2年10月6日、8日 午後1時30分～3時30分
 テーマ 「Zoom（ズーム）体験講座」
 講 師 ソフトバンク株式会社 専任スタッフ

【見守りあったかネットコーディネーター・サポーター合同研修】

日 時 令和3年2月26日（金）午後2時～3時30分
 テーマ ～コロナ禍だから学びたい～より良い見守りの姿勢と仕組みについて
 講 師 津村 薫氏（フェリアン副所長）

【見守りあったかネットサポーター養成講座開催及び周知・啓発】

地域別・サポーター 養成講座 2回 参加者数 32人

【大阪市認知症高齢者等見守りネットワーク事業協力事業者向けアンケートの実施】

目 的 住之江区内の「大阪市認知症高齢者等見守りネットワーク事業協力事業者」を対象に、地域における見守りの状況や他機関との連携状況などを把握し、今後の取組みに活かすため。
 回答状況 配付数：52 回答事業者数：14 回答率：27%

【事業の周知】

・区社協だよりへの掲載について

発行時期 令和2年8月、令和3年1月
発行部数 各46,000部
8月発行 見守り相談室の取組みについて(2面)周知記事を掲載
1月発行 保存版 見守りあったかネットコーディネーターの周知記事を掲載

3 新たな地域コミュニティ支援事業 (住之江区まちづくりセンター区委託事業)

(1) 地域課題への対応

① 区民がコロナ禍でも楽しみながらつながりを感じるために「折り紙で世界記録に挑戦！」

コロナ禍の中、集会をしなくても「つながり」を感じる取り組みとして、社会人ボランティアのサークル「地域活動応援サークル」(事務局:まちづくりセンター)が企画。

1万枚を目標に4月以降は、Zoom等での会議を重ねて、感染拡大防止に最大限配慮しながら、地域や学校等での折り方講習会、YouTubeでのPR等により、地域、事業所、学校、ボランティアグループ等の共感と賛同をいただき、事業を進めた。

南港病院小児科医竹迫倫太郎氏のご厚意により、イメージソングも作詞作曲いただいた。

結果、11月28日(土)のチャレンジ日には、なんと62,417枚が集まり内21,895枚(文字17,499枚装飾4,396枚)を使用して応援メッセージを作成した。コロナ禍の中で、明るい話題となっている。

～さざんかの折り紙を用いて制作した世界に向けたメッセージ～
すみのえから さざんかに乗せ世界にエールを! by 地域活動応援サークル

【チャレンジ日】

日 時 11月28日(土) 13時～15時
場 所 すみのえ舞昆ホール
参加者数 総数59名 (企業等31名、ボランティアG等26名)

② 外出自粛応援&コロナ禍でもできるつながりづくりコンテスト(第3回交流会)

withコロナの新生活、地域活動も新生活やニーズにあわせて頑張るために。住之江区の14地域を舞台として各地域活動協議会とともに行うコロナ禍にあわせた取組みを応援しました。

◇募集テーマ◇

◎外出自粛応援プラン

例えば、リモートによる学習・レクリエーション・ストレッチや在宅生活で不足がちな栄養指導、片付け術等、在宅生活が長期化している方々が明るく元気になる取組み

◎コロナ禍でもできるつながりづくり

こんな時だからこそ楽しめるつながりづくり（イベントやICT技術の活用等）
非接触型、接触型の場合は、工夫を凝らした感染予防対策等の取組み

◎「職種・領域を超えた協働による地域課題への取組み」、
「地域活動協議会の自主財源確保」

協働による地域課題への取組みや地域活動協議会のコミュニティビジネスにつながる取組み

【応募総数】 13件

【最終選考】 6件

【最終選考会日時】

3月19日（金）18時30分～20時30分

【会場】 すみのえ舞昆ホール

【参加者】 総数52名（企業等15名、地域等37名）

うち ZOOM 参加 17名

【選考結果】 グランプリ（賞金20万円）

企画名 学びの場

（シニア～ジュニアの世代間交流）

団体 NPO 法人エスペランサ

準グランプリ（賞金12万円）

企画名 すべてはこどもたちのために

「できること始めること」

住之江しこと博物館の開催

団体 大阪中央企業家同友会西成住之江支部

敢闘賞（5万円）※順不同

企画名 With コロナ newnormal を前提とする地域課題の克服

防災・防犯・見守り・にぎわい作り

団体 住之江連合地域活動協議会

企画名 ペットボトル回収事業

団体 さざんか粉浜活動協議会

企画名 区民向け簡単レシピの提供

団 体 住之江区栄養士協議会
区社協会長賞（5万円特別賞）
企画名 地域で誰も孤立させない
（地域の住民は地域で守る）
緊急時安否確認（鍵預かり）事業
団 体 さざんか平林協議会

（2）つながりの拡充

①地域活動応援サークル「イベント部会」

「住之江の暮らしやすさ・子どもたちが帰ってくるように」をスローガンに住之江区が元気になるイベントを企画している社会人のボランティアグループ。住之江区まちづくりセンターが、担い手拡大やつながりの拡充の観点から事務局として運営を支援している。コロナ禍以前には、地域活動協議会のイベント等を応援している。2020年から、オリンピック応援そして with コロナに突入してからは、区民がコロナ禍でも楽しみながら、つながりを感じるために「折り紙で世界記録に挑戦！」を企画実行している。

●会議実績 14回 5/13、6/5、6/29、7/16、8/4、9/15、10/6、
10/20、11/13、12/23、1/12、2/9、3/9、3/25

②地域活動応援サークル全体ミーティング（第1回交流会）

サークル発足から、この9月で丸3年。住之江区にお勤めの社会人で形成されたサークル。新メンバーも加入していることからコロナ禍で久しぶりの全体ミーティングを9月24日（木）に行った。

お互いの「強み」を共有したり、「折り紙チャレンジ」や「おせっかい宣言 Web サイト」の進捗を確認した。

日 時 9月24日（土）18時30分～20時30分
場 所 さざなみ3階多目的室
参加者数 総数企業・NPO等30名 うち ZOOM 参加6名

③企業・NPO・学校・地域交流会（第2回交流会）

日 時 1月27日（水）18時～20時
場 所 さざなみ3階多目的室
テ ー マ こども・子育て世代を取り巻く課題と対応
参加者数 総数26名（企業等14名、地域等12名）
うち Zoom 参加17名
内 容 企業・NPO・学校・地域・病院関係者等が集い、子育て支援室や NPO 法人から現状や実践等を聞き、多職種連

携でできること等を協議した。

(4) 組織運営支援

①地域活動協議会「会長会」での情報提供など

住之江区役所協働まちづくり課が開催する「会長会」に参加。各種事業や区内の好事例を紹介し、意見交換等を進めた（全5回）

②行事カレンダーの更新

各地域の行事カレンダーを更新。各所での配架などを行い地域活動協議会や地域活動の啓発を行った。

③まちづくりセンターからの発信

各地域活動協議会の紹介やブログ、フェイスブックでの地域活動や企業・NPO・学校・地域交流会等の事業紹介を行った。また、行事カレンダーをホームページに掲載し、区民が容易に地域情報を得ることができるよう工夫した。

4 地域包括支援センター事業（市委託事業）

(1) 地域包括支援センター事業

①総合相談支援業務・包括的継続的ケアマネジメント

年間相談実人員	1, 103人
---------	---------

総合相談	訪問による相談	延1, 608件
	電話による相談	延6, 704件
	来所による相談	延 798件
	その他	延 95件
	合計	延9, 205件

会議開催・参加状況	地域ケア会議の開催	7回
	ブランチ連絡会の開催	8回
	ネットワーク構築のための会議	47回
	区運営協議会への参加	3回
	地域密着型サービス運営推進会議	12回
	サービス利用調整会議	43回
	地域との関係づくり	141回
包括的継続的ケアマネジメント	介護支援専門員個別相談	1, 912回
	居宅介護支援事業者連絡会	3回
	介護支援専門員への研修会	1回(共催)

②権利擁護事業

高齢者虐待 対応状況	虐待と判断	8件
	虐待と判断せず	16件
	セルフネグレクト	1件
	合計	25件
分離の有無	養護者から分離	5件
	養護者から分離せず	3件
	合計	8件

③介護予防ケアマネジメント（チェックリストにより事業対象者になった方、および要支援認定を受けて総合事業のみを利用する方）

包括作成プラン数	一部委託プラン数	合計
298件	3,762件	4,060件

④介護予防支援（要支援の認定を受けて予防給付を利用される方）

包括作成プラン数	一部委託プラン数	合計
284件	4,397件	4,681件

⑤地域包括支援センター総合相談窓口（ブランチ）による支援

総合相談	訪問による相談	延 442件
	電話による相談	延 554件
	来所による相談	延 18件
	その他	延 56件
	合計	延1,070件

⑥地域住民向け勉強会

○新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度は開催なし

⑦ケアマネジャー向け勉強会

○開催日 令和2月11月13日（金）

場 所 住之江会館

テーマ 第1部「高齢者虐待の基本的理解」

第2部「事例検討会～通報の判断を迷うケースを基に～」

講 師 現代ソーシャルワーク研究会（家高 将明氏 他）

参加者 61人

⑧地域の支援者向け勉強会

○新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度は開催なし。

⑨認知症高齢者支援ネットワーク連絡会

○連絡会 区医師会・4包括・ブランチ・オレンジチーム・区社協・
区役所（16名参加）

○区民向け勉強会

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度は開催なし。
住之江区版認知症ケアパスの改訂・配布により区民向け啓発とした。

○多職種研修

令和2年12月22日（火） オンライン開催

講演会 「新型コロナウイルス感染症対策～認知症の人を新型コロナ
ウイルスから守るために～」

講師 社会医療法人景岳会南大阪病院

感染管理認定看護師 夜久 直也氏

参加者 68人

⑩在宅医療・介護連携推進協議会

○連絡会 新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催なし。

○講演会 新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催なし。

(2) 大阪市家族介護支援教室事業

○講演会 「食事で認知症・筋力低下予防」

開催日 令和3年2月25日（木）

場所 区在宅サービスセンター

講師 社会医療法人三宝会 南港病院栄養科 科長 田貝 泉氏

参加者 18人

5 介護予防教室（なにわ元気塾）事業（市委託事業）

年齢を重ねてもできるかぎり自立した自分らしい生活を送れるように、介護が必要な状態になることを予防するため、地域の身近な場所での様々なレクリエーションによりこころとからだの元気を高める「なにわ元気塾」などの教室を地域の支援者ととともに実施した。

コロナ禍の影響を受け、利用者数は39%（199名）減少した。

○通所型閉じこもり予防事業実績（月1回・1回90分）

実施箇所数 4箇所 述べ参加者数 310人

6 老人福祉センター事業（市指定管理事業）

令和2年度は、前年度の事業内容を発展的に継続する計画でしたが、コロナ禍の影響で閉館や事業・サークル活動に規模の縮小や感染防止対策等の制限があり、センターとしては運営が大変難しい年度となった。その様な中、感染予防対策を十分に行ったうえで、利用者が自分に合った事業が選択できるように、ニーズに合った講座や健康維持増進活動、介護予防関連事業など実施した。また、各種の相談に応ずるとともに、運営主体である住之江区社会福祉協議会の活動と連携して地域福祉の増進を図ることを目指し、地域包括ケアシステムの一端を担う施設として取り組んだ。

事業名	実績		備考
	回数	人数	
◆高齢者の居場所づくり、孤立防止の取り組み			
将棋開放	37	488	事前予約制 → 制限ありの自由参加制に緩和 → 時間制限を徐々に緩和
囲碁開放	38	356	
男性のリフレッシュ体操教室	1	12	
◆健康づくりと介護予防の促進講座			
骨・カルシウムセミナー	1	8	
健活セミナー 食べる事！	1	15	
今日からできる認知症予防	2	32	
自宅でできる健康体操	3	33	
ウォーキングと健康体操	10	143	
ツボ押し運動教室	6	60	
◆健康・体力作り事業			
いきいき百歳体操開放	132	1,327	定員 12/回、4グループに分けて実施
リラックスヨガ	14	108	
笑い感動と健康	2	27	
ノルディックウォーク講習会	3	45	住之江公園×2、南港中央公園
百歳体操体力測定会	1	19	
歩こう会（春・秋）／社会見学	—	—	感染拡大防止のため事業中止
◆生きがい探求講座・教養講座			
スマホ活用講座	9	112	
はじめてのオンライン体験講座	3	36	
かんたんシンプルスマホ体験	2	28	

教室			
絵画体験	1	6	
筆ペン講習会	8	71	
Zoom 講習会	3	21	Zoom を使うための講習会
ウィークデーアンサンブル (Zoom による配信あり)	1	25	人数制限があるため、在宅でも楽しんでいただけるよう Zoom で中継
キャスレスとマイナポイント	1	16	
乳和食セミナー	2	27	
干支の押絵	1	12	
絵手紙講習会	1	11	
カラーコーディネートセラピー	1	12	
リースづくり	—	—	感染拡大防止のため事業中止
布ぞうりを作ろう	—	—	感染拡大防止のため事業中止
寄せ植え講習会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
◆生きがいつくり事業			
折り紙あそび	4	34	
作品展	3 週間	295	規模縮小
◆高齢者の自主的な地域福祉活動支援（人材育成）			
カフェボランティアミーティング	6	59	カフェ実施に向けての準備・協議
さざんか折り紙教室	1	19	
カフェボランティア折り紙チャレンジ	1	7	地域活動応援サークルに参画 医療従事者への感謝を表す
カフェボランティアミーティングふれあい喫茶見学	1	8	カフェ実施に向けての準備
手話体験講座	—	—	感染拡大防止のため事業中止
ディスプレイ講習会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
◆地域間交流・世代間交流事業・共催事業			
区老連ふれあいグラウンドゴルフ 共催事業	1	144	住之江公園グラウンド
卓球教室（子プラと共催）	—	—	感染拡大防止のため事業中止
キッズシアターかみふうせん (住之江図書館と共催)	—	—	感染拡大防止のため事業中止
◆啓発活動・啓発講座			
普通救命講習会 I	1	7	

楽しい英会話	8	49	
◆その他			
サークル世話人会	6	48	感染拡大防止のため分散して開催した
お誕生日会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
納涼盆踊り大会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
輪投げ大会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
年忘れ演芸大会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
サークル発表会	—	—	感染拡大防止のため事業中止
カラオケ大会	—	—	感染拡大防止のため事業中止

サークル活動支援

サークル名	実績		備考
	回数	人数	
カラオケ1	—	—	感染拡大防止のため休止
カラオケ2	—	—	感染拡大防止のため休止
カラオケ3	—	—	感染拡大防止のため休止
民謡	3	31	
民踊A	4	72	
民踊B	6	104	
詩吟	—	—	感染拡大防止のため休止
俳句	8	99	
謡曲	—	—	感染拡大防止のため休止
書道1	12	117	
書道2	—	—	感染拡大防止のため休止
茶道	—	—	感染拡大防止のため休止
編物1	12	87	
編物2	12	120	
卓球	—	—	感染拡大防止のため休止
囲碁	41	378	
健康体操A	10	161	
健康体操B	12	190	
将棋	12	107	
コーラスカメラiaz	—	—	感染拡大防止のため休止
書を楽しむ会	12	197	
ウクレレ	10	129	

感染拡大防止対策

- 🚫 令和2年4月1日から6月18日の期間センター閉館
- 🚫 開館（再開）後の感染防止対策と運営方法の策定

- 3密の回避、手指消毒、マスクの着用義務、検温、体調の確認、換気など
- センター事業および開放事業の制限（人数制限、時間制限など）
- 事業終了後に使用した物品等の消毒
- 囲碁／将棋の飛沫防止対策としてパーテーションを設置。
- 全サークルに対し再開に向けて制限や条件等の説明会と意見交換会を開催（6/10～6/17 に分散して世話人会を開催）。また、年度間を通じ活動方法や制限面など都度協議し、活動支援に取り組んだ。（カラオケ、卓球、茶道等については年度を通して活動見合わせ）
- 大阪コロナ追跡システムの活用（施設登録と利用者への活用促進）
- 年末年始は第3波レッドゾーンのため、期間中にある事業やサークル等は休止。
（介護予防の観点から、いきいき百歳体操のみ実施）

✚ 2回目の緊急事態宣言発出により、令和3年1月15日～2月28日まで期間中、事業やサークル等は休止。（介護予防に関連する体操系およびスマホ関連の事業は実施）

7 子ども・子育てプラザ事業

次世代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるため、子育て中の家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、各種講座・イベントを開催した。令和2年度は延べ9,637人の利用があった。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども・子育てプラザは、令和2年4月1日から5月31日まで利用を停止。6月1日から行事、イベントは中止で利用を再開。利用時間制限・利用人数制限あり（2時間15組を1日2回実施）。7月1日から運動を伴わない行事、イベントを再開。年度内は運動を伴う講座（一般利用）は中止。

（1）子育て活動支援事業

①子育て等に関する相談・援助の実施

○子育てなんでも相談 年8回開催（3回中止）

○すくすく成長測定 年9回開催（3回中止）

②地域の子育て関連情報の提供

○子育てに関する情報コーナーの設置、子ども・子育てプラザ情報紙

「プラザだより」を毎年14,440部発行、関係施設・団体に配布
区内情報紙 2紙、区広報「さざんか」、子育て活動支援情報紙「わいわい」にプラザの情報を掲載

○ホームページの管理 毎月の行事予定・行事報告の情報を掲載

③子育て及び子育て活動支援に関する講習等の実施

- 親子料理教室 年(3回中止) ○ふれあい遊び 年7回開催(3回中止)
- 出前講座(しゃぼん玉遊び 年1回開催(1回中止) ○ママのリフレッシュ講座 年(2回中止) ○パパ講座 年2回開催(1回中止) ○絵本展(1回中止) ○プレママ(パパ)講座 年1回開催

④地域の関係機関や子育て活動支援を行う団体等と連携し、地域交流活動を実施

- プラザ夏のフェスタ(中止) ○母と子の共励会事業に協力○おもちゃ病院開催
- 世代間交流「卓球教室」老人センター(運動を伴うため全11回中止)
- 地域子育て活動支援者研修(年2回中止) ○子育てサロン連絡会(年2回中止) ○服(福)回し(年1回中止) ○森ノ宮医療大学看護学生実習受け入れ(12日) ○子育て支援ボランティア講座(ファミリー・サポート・センター提供会員養成)9月1日(火)～10月20日(火) 12講座(9名受講)

⑤児童健全育成事業

- 各種講座の開催
 - ・卓球教室 年 (11回中止)
 - ・料理教室 年 (2回中止)
 - ・工作教室 年 6回開催(2回中止)
- 各種体験講座・各種大会の開催
 - ・エアホッケー大会(1回中止)・リサイクル工作(1回中止)・ミニ祭り(1回中止)
 - ・科学ショー「コナンに挑戦」・ビンゴ大会 ・新春ゲーム大会計3回開催

(2) つどいの広場事業

①各種イベント開催

- サーキット遊び
- ミニクリスマス会開催(人数制限15組で4回実施)4回合計111人参加

②子育て支援に関する各種講座の開催

- 親子エアロビクスの開催 年 7回開催(3回中止)
- 親子リトミック遊びの開催 年 7回開催(3回中止)
- 絵本の読み聞かせ(プラザ職員)年 7回開催(5回中止)
- 簡単工作 年10回開催(3回中止)
- 簡単遊び 年 5回開催(1回中止)
- お楽しみタイム 毎日 2回開催

③ブックスタート事業の実施 年15回開催(2回中止)

(3) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業

①会議等の開催

- サブリーダー会議の開催 年3回開催
- 会員交流会の開催 年1回開催
- 学習会の開催 年1回開催
- 救命救急講習 年1回開催

②援助活動実施件数 253件

会員数 143人

(内訳) 依頼会員：87人 提供会員：50人 両方会員：6人

(4) 『南港地域での子育て支援』住之江区事業の実施

南港に在住しているプラザの利用者から「プラザのイベントに参加したいが、電車に乗って出かけないといけないので、参加しにくい」などの意見が多く出ている。これらの意見に対して、南港地域に出向き出前講座などを行うことにより、南港地域での子育て支援の充実を図っていくことを目的に実施した。

開催日・参加者数

令和2年	5月	8日	中止	
令和2年	6月	12日	中止	
令和2年	7月	10日	中止	
令和2年	9月	11日	6組	12人
令和2年	10月	9日	4組	8人
令和2年	11月	13日	7組	15人
令和2年	12月	11日	5組	10人
令和3年	2月	12日	4組	10人
令和3年	3月	12日	5組	11人
合計		6回	31組	66人

※会場：ATCオズ北2階 ママのフォレストパーク

時間：午前10時30分～午前11時15分

内容：ふれあい遊び・リズム遊び・絵本の読み聞かせ・製作等

8 生活困窮者自立相談支援事業（市委託事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「住居確保給付金制度」の申請者条件が、2年以内の離職者から収入減少者にも拡充される。更に、総合支援資金再貸付希望者で、生活困窮者自立相談支援機関へ相談希望にチェックがある、チェックはないが具体的に相談内容の記載がある場合等に対して相談対応を行った。

(1) 相談実績報告

◎新規相談・相談対応（人）

新規相談（実人数）	638
相談対応（延べ人数）	2514

※ 住居確保給付金のみ相談（延べ人数）680

◎男女別対比（人）

男 性	408
女 性	230
不 明	0
合 計	638

◎年齢別相談者数（人）

～10代	12
20代	59
30代	97
40代	109
50代	124
60～64才	49
65才～	112
不明	76
合 計	638

◎相談内容別内訳（人）複数選択有り

病気	23
住まいについて	61
収入・生活費	251
家賃・ローンの支払い	357
税金や公共料金等の支払い	26
債務について	17
仕事探し、就職について	128
仕事上の不安・トラブル	10
地域との関係について	1
家族との関係について	14
子育てのこと	9
介護のこと	11
ひきこもり・不登校	18
DV・虐待	3
食べるものがない	16
その他	63
合 計	1008

(2) 広報周知・講座の開催、イベント等への参加

①区役所内 電子掲示板掲示・区社協だより 第72・73号

②住之江区広報紙「広報さざんか」2月・3月号記事記載

③フードドライブの開催

④ 環境ふれあい広場

令和3年3月27日(土)

講座関係

さざんか加賀屋協議会『8050問題への注目』令和3年3月14日(日)

(3) 区内外担当者・関係機関との連携・定例会議の開催等

毎月1回、区担当者(就労支援事業者等)と事業の進捗状況や相談ケース対応の経過の方向性について、定例支援調整会議を実施。

また、随時支援対応として支援調整会議を開催・支援検討を実施。

区役所内各担当部署や関係機関との連携を図れるよう、対応を行った。

9 生活福祉資金貸付事業

<相談実績報告（件）>

自立相談支援機関との連携	19
--------------	----

内 容	電話相談	窓口相談	申込書配付
福祉資金	284	65	9
教育支援資金	351	102	27
緊急小口資金	32	10	6
不動産担保型生活資金	4	2	0

●生活福祉資金新型コロナウイルス感染症特例貸付受付状況

①貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

②貸付上限額

- ・緊急小口資金 20万円
- ・総合支援資金 60万円（月額20万円×3か月）
- ・ 〃 （延長）60万円（月額20万円×3か月）
- ・ 〃 （再貸付）60万円（月額20万円×3か月）

※注1

※注1：単身世帯は月額15万円が上限

●受付期間 令和2年3月25日～令和3年6月30日

※当初、受付期間を令和2年9月末までとしていたが、依然として高水準の申請件数が続いていること等を踏まえ、令和3年6月末まで受付期間が延長された。

●住之江区受状況（令和3年3月31日現在 大阪府社協申請件数）

	R2 3・4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月	合計
緊急小口	415	547	412	219	142	126	93	77	70	71	165	221	2,558
総合支援	36	303	340	247	152	121	82	71	78	45	83	170	1,728
総合支援 （延長）				25	431	241	95	65	77	60	98	33	1,125
総合支援 （再貸付）											295	600	895

※1 1月受付件数は11/1～11/13までの件数

※総合支援資金（延長）は令和2年7月27日から受付開始

※総合支援資金（再貸付）は令和3年2月19日から受付開始

10 生活支援体制整備事業（市委託事業）

総合事業の実施に伴い、地域資源の開発や関係者間のネットワーク構築、高齢者の通いの場を確保するための調整等を行なった。

（1）地域資源の把握状況

地域調査や各種情報紙等により把握した地域資源の数

	区内の介護予防の取組み						区内の生活支援サービス			
	就労	地域貢献	趣味	運動	学習	交流	買い物	家事	外出	その他
資源の数	1	8	203	175	22	73	28	40	9	20

（2）地域資源の創出数

	区内の介護予防の取組み						区内の生活支援サービス			
	就労	地域貢献	趣味	運動	学習	交流	買い物	家事	外出	その他
新規立ち上げの数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
既存資源の拡充	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0

（3）高齢者の生活ニーズ・課題等の調査

実施目的：高齢化が進む加賀屋緑木住宅でのニーズ・課題調査を通じて、買い物動向等の高齢者の生活に関する課題やニーズを把握したうえで必要な社会資源の開発を地域とともに進めていく。

実施期間：令和2年11月20日（金）～12月4日（金）

配付戸数及び回収枚数

269戸（配付） / 128枚（回収）

アンケート結果の単純集計及びクロス集計を実施し、自治会長へ共有。

（4）協議体開催状況

○協議体の開催

SALive 実行委員会を協議体に位置づけており、区内 在住、在勤者有志とともに地域福祉の視点から見た防災等について意見・情報交換を行なった。

◇回数 12回（毎月第2火曜日 18時45分～20時）

◇場所 南大阪病院等

※本年度から「住之江区内の高齢者に対するアンケート調査」の準備委員会を第1層協議体に位置付ける。

（5）広報物の作成

新型コロナウイルスによる外出自粛期間を踏まえ、区社協だより特別版

を発行し、区民へ情報周知を行った。

内 容：『外出自粛とらの巻！在宅生活を有意義に♪』

①『横歩き運動で運動不足解消！』

寄稿者：カラダのミカタ住之江院 院長 中野 慎市氏

②『お片付けの第一歩』

寄稿者：株式会社くらすむーぶ

片付けアドバイザー みやたか みちよ氏

③『長い在宅生活や免疫力アップのための栄養』

寄稿者：社会医療法人三宝会 南港病院 栄養科
科長 田貝 泉氏

1 1 地域による人と家の見守り活動支援事業（区委託事業）

少子高齢化と核家族化により生じる高齢者の単身世帯の問題とその先にある管理されない家屋の問題を、福祉の視点から「人も家も見守っていく」事業を行うため、地域福祉関係団体や協力事業者のネットワークを活用しながら、予防的な空き家対策を進めている。

（1）相談対応の実績について

①相談件数

開設時から令和3年3月末まで	累計	100件
うち 平成30年度（7月～3月）		37件
令和元年度（4月～3月）		37件
令和2年度（4月～3月）		26件

②相談の内容

・特定空家等通報に関するもの	10件
・空き家物件の紹介を希望するもの	3件
・本事業の趣旨に合致するもの	87件

（2）区役所との連携について

区担当者との連携・定例会議の開催

毎月第2週目を目途に開催し、合計12回実施した。

（3）協力事業者との連携について

区との協定契約を締結した事業者について

・不動産業	5社	・建築、リフォーム業	4社
・解体業	5社	・司法書士業	10社
・電気工事	4社	・土地家屋調査士業	5社
・運輸、造園、簡易メンテナンス業	各1社ずつ		

合計36社と協定。

（4）普及啓発活動について

①福祉関係者向けセミナー 事例検討会を開催 （再掲）

日 時：令和2年10月15日（木）13時30分～15時30分
場 所：住之江区在宅サービスセンターさざなみ 3階 多目的室
講 師：梅花女子大学 看護保健学部 准教授 綾部貴子氏
内 容：i 古い持家に居住する認知症の進行も見られる女性独居

高齢者の事例

ii いわゆるゴミ屋敷に居住する男性独居高齢者の事例

参加者：ケアマネジャー13名、病院・看護師2名、MSW・老健2名、包括支援センター4名、区役所・社協2名

【合計23名】

②住之江区地域包括支援センターが開催する「出前相談会」に参加

日 時：令和2年11月27日（金）住吉川地域
場 所：住吉川西部会館 10時30分～12時

③「終活 超入門講座」の企画

- ・さきしま地域包括支援センターと住之江区役所との共催で「終活超入門講座」を企画。本事業協定事業者である“セイコー運輸株式会社”（現：株式会社くらすむーぶ）の社員が整理収納アドバイザー1級資格を保有しており、家財の片づけや、収納に関する情報を提供する事により、家や住まいへの関心を高め、相続物件として不動産が残る事について考えて頂く事を目的とした。
- ・令和2年8月と9月、さきしま地域包括支援センターと住之江区役所と打合せを重ね、令和2年12月11日にリモートを併用した開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止となった。

④「大阪大学・院生との空き家に関するフィールドプロジェクト」

- ・研究授業への指導・助言活動に参加。
- ・支援センターの機能と実務経験豊かな事業者の行動力がコラボレーションし、これからの空き家問題等の解決を担う若き研究者と意見交換が出来た。

日 時：令和2年10月24日（土）14時～17時

場 所：住之江区役所 市長応接室

出席者：住之江区社協 坂根、小出、田中

株式会社錦興産 大西社長（協定事業者）

⑤有識者会議への参加

- ・住之江区役所が主催する「有識者会議」に参加

日 時：令和2年12月24日（木）9時～12時

内 容：平成30年8月～令和2年11月の事業活動を総括。

出席者：住之江区社協 坂根、小出、田中

【事業効果について】

1 空き家の未然防止に対する効果

- (1) 当初、「高齢者の支援の中で家の所有者と出会う機会を捉えて、早くから家の管理・活用について考えてもらえれば、また、適切な事業者につながられれば、空き家や特定空家の発生を防ぐ事が出来るのではないか」との想定で事業を開始した。
- (2) 「家を出て施設入所するので家屋が空く」といった直接的な情報は無かったが、区役所からの案内や広報誌等を見ての相談（特定空家通報、空家の紹介を除く）56件中、居住中のものが22件であるに対し、福祉関係者から直接または紹介による相談（特定空家等通報を除く）24件中、居住中のものが19件、空き家になって1年以内の物件移管する相談が3件となっている。

◎福祉関係者との連携は、空家の未然防止に有効であったと考えられる。

2 福祉課題に解決に対する効果

(1) 高齢者の居住環境の改善

- ・ケアマネージャーから相談事案。高齢独居の持家所有者が家を売却して施設に転居したいとのこと。
- ・建物は古年、接道要件が満たせず、増築部分の未登記も有ったが、相談者は売却の決断が早く、早期に売却処分が成立。本人は転居し、新しい環境で今後の暮らし方を手に入れた。

(2) ごみ屋敷状態の改善

- ・見守り相談室からの相談事案。庭木が道路上に繁茂し、ごみ屋敷状態の老朽家屋で一人暮らしのケース。
- ・本人、協力事業者会議を開催し、改善方策を確認。土地は借地で有り、借地返還し新たな環境での生活を目指す事となった。協力事業者が借地権返還手続きを支援、家財撤去、建物解体の上、エレベータ付きマンションへ転居、生活環境改善につながった。

(3) 持家居住の認知症高齢者世帯への対応。

- ・ケアマネージャーからの紹介を受けての相談。
- ・持家に居住する高齢夫婦が自立生活困難となった。家を売却し、老人施設への転居を希望。
- ・ケアマネージャーが入居可能な施設を探すと共に、協力事業者（司法書士）により成年後見人の選任手続きを進め、持家の処分を目指す。

(4) 共有の持家に独り暮らしする高齢者の対応

- ・高齢独居で、不動産は家族四名で共有登記。うち、共有者の一人は死去

しており相続登記未了。

- 物件状況は、再建築不可の幅50センチの通路に面した連棟3軒長屋。建物には、雨漏りの跡がある。
- 生活面では生活保護の支援も受けており、家屋の修理には高額が必要。修繕して継続居住は困難とみなされ、今後は施設入所を探すと共に、共有物件の処分を検討。
- 相続人間の分割協議を纏めていくキーパーソンが居ない中、支援センターが中心となって相続人や共有者に事情説明。法定持ち分を基本とした分割案でまとめ、司法書士に相続登記を依頼できた。また、事業者による再活用が 困難な物件であったが、協力事業者の活躍により買い手を探し、登記費用等必要な金額を賄える契約条件で纏まった。相談者は老人施設へ転居、生活環境改善につながった。

3 福祉課題解決に当たってのセンターの意義

- (1) いずれも売却等抜本的対応を含め、家の問題に対応することで居住中の環境を改善し、それぞれのケースの状況に応じた新たな住まい方(①②は転居し、福祉的な支援を継続、2-③④は高齢者施設を視野に入れた対応)につなげようとしたもの。
- (2) とりわけ2-②のような借地権返還を伴うケースについては、協定事業者の知識経験が不可欠であり、センターが中心となり、福祉と家の関係者が本人を交えて意向を確認し、役割分担のもとで対応し解決したものであり、センターが有る事で対応できた事例と言える。
- (3) また、2-④のような相続人の意見調整を伴うケースについては、相続人同士のコミュニケーションを取り持つセンターの役割が重要であった。**公共性の側面を持つ、支援センターが介在することで対応できた事例**であった。
- (4) こうした**家を含めた福祉的課題の解決**に当たっては、**福祉・法律・建築等の多岐に渡る専門知識と経験が必要**となる場合が多く、多分野・多職種間の連携と調整をおこなえるコーディネーターや多職種が一同に会する**調整の場の必要性**が今後高まっていくと考えられる。

その他の区社協による事業部門（自主事業・その他）

1 通所介護・介護予防通所介護事業

利用者個々の生き方に配慮した画一的でないサービス提供を心がけ、実りある日常生活を共に築き上げることをモットーに取り組んでいる。また、地域福祉の人材育成と還元にも力点を置き、関係機関との連携のもとボランティア・不登校児童・社会適応訓練者等を積極的に受け入れている。

今年度（令和2年度）はコロナ禍の影響を受け、前年比12%（288名）の利用者減となった。

＜利用実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
利用人員	31	16	28	29	25	26	23	28	25	25	25	23	—
延人員	189	111	197	186	160	169	180	173	171	151	171	191	2,049

行事：今年度は8月の夏まつりのみ

2 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理をお手伝いし、安心して生活が送れるよう支援する。

＜令和2年度末利用状況＞

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
利用希望状況	8	3	2	0	13
利用実人員数	94	22	32	1	149

＜令和2年度契約締結・終了件数累計＞

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
契約締結件数	21	3	7	0	31
契約終了件数	16	1	2	0	19

＜令和2年度相談援助件数＞

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他・不明	計
問い合わせ件数	1	0	1	5	7
初回相談件数	35	9	11	0	55
相談援助件数	3,873	1,173	2,057	147	7,250
令和2年度合計	3,909	1,182	2,069	152	7,312

3 相談援助実習・職場体験学習等の受入

学校・機関名	実習・学習（人数）	期間	内容
大阪保健福祉専門学校	相談援助実習(1人)	9/28～11/5 内 24 日間	事業全般
	相談援助基礎実習(1人)	9/3～9/28 内 11 日間 ※本人体調不良のため、4日 で実習中止	事業全般
神戸医療福祉大学	相談援助実習(1人)	8/18～9/30 内 26 日	事業全般